

社会資本総合整備計画（市街地整備） 事後評価書

平成31年3月22日

計画の名称	1 藤岡南部地区都市再生整備計画													
計画の期間	平成25年度～平成29年度（5年間）													
計画の目標	交付対象 群馬県、藤岡市													
大目標：人が集うまちづくり ①緑を活かしたレクリエーションや健康増進による交流拠点まちづくりの推進 ②地域に根差した魅力的な観光地の創出によるまちづくりの推進														
計画の成果目標（定量的指標）														
■都市公園利用者数を141,524人（H23）から154,100人（H29）へ増加 ■観光施設利用者数を1,783人（H23）から4,500人（H29）へ増加														
定量的指標の定義及び算定式														
■高山社跡がもつ本質的な価値のほか、市内に点在する歴史的・文化的な資源を掘り起こし、地域の更なる魅力向上やシビックプライドの醸成を図っていくことが求められる。 庁内資料により、地区内の都市公園3箇所（ふじの咲く丘、ふじふれあい館、藤岡市民球場）の合計利用者数を算出する。 庁内資料により、地区内の代表的な観光地である高山社跡の利用者数を算出する。														
全体事業費	合計 (A+B+C)	851	百万円	A	846	百万円	B	0	百万円	C	5	百万円	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C)	0.6%

事後評価（中間評価）

○事後評価（中間評価）の実施体制、実施時期	
事後評価（中間評価）の実施体制	事後評価（中間評価）の実施時期
都市計画審議会	平成31年2月22日（金） 公表の方法 藤岡市ホームページにて公表

1. 交付対象事業の進捗状況

交付対象事業															
A1 基幹事業															
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名（事業箇所）	事業内容（延長・面積等）	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費（百万円）	備考
									H25	H26	H27	H28	H29		
1-A-1			藤岡市	直接	藤岡市	藤岡南部地区都市再生整備計画	公園・道路等 A=950ha	藤岡市						846.0	
合計													846.0		
B 関連社会資本整備事業															
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名	事業内容（延長・面積等）	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費（百万円）	備考
									H25	H26	H27	H28	H29		
														0.0	
合計													0.0		
C 効果促進事業															
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名	事業内容	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費（百万円）	備考
									H25	H26	H27	H28	H29		
1-C-1			藤岡市	直接	藤岡市	観光ガイドマップ作成	33,000枚	藤岡市						5.0	
合計													5.0		
番号	一体的に実施することにより期待される効果										備考				

※交付対象事業については、できるだけ個別路線ごとに記載すること。

2. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況

I 定量的指標に関連する					
交付対象事業の効果の発現状況		指標1 [庚申山総合公園] 庚申山総合公園拡張整備では公園内に新たに広場や園路、藤棚等が整備されたことで、多世代に対して魅力の向上が図られ、交流拠点として利用者増加へ直接的な貢献を果たした。 [藤岡総合運動公園] 老朽化設備の更新が図られ、他地域からの利用者増加へ直接的な貢献を果たした。 [その他] 市道整備や観光ガイドマップ作成は、来訪者のアクセス向上、情報提供に寄与し、指標改善に間接的に貢献した。 一方、サイクリングロードは事業は完了したものの、今後の活用に向けたソフト施策の展開が求められる。			
II 定量的指標の達成状況		指標2 [高山社跡周辺] 高山社跡の世界遺産登録を契機として今回の周辺環境整備やボランティア育成、市道8048号線が観光施設利用者数の大幅増に直接的に貢献を果たした。 市道鬼石2128号線整備は部分的に来訪者のアクセス性向上、観光ガイドマップでは高山社跡を紹介し、指標の改善に間接的に貢献した。 [その他] サイクリングロードは事業完了し高山社跡を訪れるサイクリストの増加は感じられているが、今後の活用に向けたソフト施策の展開が求められる。			
II 定量的指標の達成状況	指標①	最終目標値	154,100人	目標値と実績値に差が出た要因	高山社跡が世界遺産登録されたことにより観光客が増加したことが指標改善の直接的要因である。
		最終実績値	163,816人		
	指標②	最終目標値	4,500人	目標値と実績値に差が出た要因	
		最終実績値	19,328人		
III 定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況（必要に応じて記述）		・高山社跡が世界遺産登録されたことにより周辺地域を含めた広域的な観光振興に向けた取組が進められている。 ・自転車を利用して高山社跡へ訪れる人が増加している。 ・県立女子大生がFacebookで高山社跡の投稿をし、集客につながっている。 ・市内の観光周遊を促進するため、ららん藤岡を中心とした周遊コースを8コース設定し、パンフレットを作成した。			

3. 特記事項（今後の方針等）

- 都市公園等を活用した通年の観光・健康・交流イベントの開催、高山社跡の復元作業や歴史的景観に配慮した環境整備等を行い、利用者数の維持・拡大に努める。
- 既存イベントとの連携、市内の拠点間ネットワークの強化等により、周遊型観光の推進を検討する。
- 高山社跡を中心とした地域資源を活用し、行政・民間・住民・学生等の多様な世代の連携により地元の更なる魅力向上を図る。

社会資本総合整備計画（市街地整備） 事後評価書

計画の名称	1 藤岡南部地区都市再生整備計画	交付対象	群馬県、藤岡市
計画の期間	平成25年度 ～ 平成29年度（5年間）		

